



2017年度 グレーター・マン彻スター・クラブ活動報告

会長：平沢洋治

2017年12月21日

今年度の活動報告をします。

今年度は前からの課題であったホームページを古川秀雄さんが作成してくれました（<http://manchester94.club/>）。このホームページがきっかけで若い人達が入会してくれることを期待しております。今後英國大使館、British Council及びFacebookとリンクを目指し、特に留学を希望している人達の懸け橋や英國北西部との文化交流が盛んになることを期待しております。

[年次大会]

12月2日にグレーター・マン彻スター・クラブ発足の場所（国際文化会館）で年次大会を開催しました。参加者は17名でこれまでの年次大会で最小人数となりました。会費が高かったこと、および開催日に予定のある人が多かったことが原因と思われます。少ない参加人数でしたが大会はこれまで最も盛り上がったと思います。講演していただいた足立和成教授（山形大学）のテーマ「国立大学法人におけるコンプライアンス」が大きな関心を呼びました。内容の要旨は下記の通りです。

国立大学の法人化は、各国立大学の自律的・自発的に「個性豊かな」大学を生み出すための改革だと宣伝されてきたが、そのための当事者の能力を各国立大学に持たせない形で、制度面での法人化だけが先行した結果、そのコンプライアンスを含むガバナンスがおざなりにされてきた。このままの状態が続くならば、いずれは大きな問題が起こり、それをきっかけに大学での教育研究活動への締め付けだけが強まることになろう。その結果、我が国の学術研究・高等教育の中核を担うべき国立大学の学力がそがれて衰退することや、ひいては我が国の国際競争力の低下が強く懸念される。



足立和成さん



集合写真

[編集後記]

グレーター・マンチェスター・クラブではこれまで会費を集めておりません。このため昨年度の年次大会において、寄付を募ることを決めました。一口2千円で、多くの方の協力で90口、18万円が集まりました。また同時にネクタイの販売への協力をお願いし、30本、3万円が売れました。今後とも寄付およびネクタイの販売を続けていきます。さらなる協力をお願い申し上げます。

今年も10日残すばかりとなりました。どうかよいお年をお迎えください。来年は会員数が増えていることを期待しています。